

施策評価シート

施策等名称	交通安全対策	体系番号	0501010304
		主管課	建設課

1 施策基本情報

現状と課題	交通安全施設「道路反射鏡(カーブミラー)・転落防止柵(ガードレール等)・路面標示・標識・視線誘導標等」は円滑な交通に不可欠な施設であり、道路管理者として、良好な状態を保つため、新設、更新を行っている。 しかし、除雪による路面標示の摩耗や、融雪剤散布による道路反射鏡や標識の支柱の腐食が起こっており、早急な復元・建て替えが必要である。 交通事故を防止するため、交通安全教室等を継続して実施する必要がある。 駅前自転車駐輪場を適切に維持管理することで、駅前の秩序維持を図る必要がある。
めざす将来像 (あるべき姿、基本的な考え方)	ハード面の交通安全施設整備と、ソフト面での交通安全教室等による啓発活動によるもの、また、駅前の交通確保のため、駐輪場の管理の実施により、交通事故防止対策を継続して実施する。

施策指標	指標名称	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値	2027年度目標値
	①	老朽化ミラーの更新数	年間の道路反射鏡設置・更新数(基)	1.00	20.00
②	交通安全教室の実施回数	年間の交通安全教室実施回数	64.00	66.00	
③	放置自転車の撤去回数	放置自転車の撤去回数	1.00	2.00	

施策の柱 1	名称	交通安全施設整備事業		主管課	建設課		
	詳細	道路交通網が高速化・広域化・過密化・連続化(24時間化)し、様々な要因により、交通事故が後を絶たない。 道路パトロール、住民要望などにより、必要性を判断して適時適切な交通安全施設(道路反射鏡・転落防止柵・路面標示・標識・視線誘導標等)の整備を実施することで、交通事故防止を図る。					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
	1	道路反射鏡設置・更新数	年間の道路反射鏡設置・更新数(基)	1.00	22.00	1 交通安全施設整備事業	実施
	2	転落防止柵等の設置・更新距離	年間の転落防止柵等設置・更新距離(m)	140.00	100.00	3	
	3	路面表示の設置・更新述べ距離	年間の路面表示の設置・更新述べ距離(m)	14495.40	14495.00	5	

基本政策間連携

施策の体系	名称	交通安全対策事業		主管課	建設課		
	詳細	交通安全運動、高齢者交通安全モデル地区事業、運転者、事業所、子ども、母親等への啓発活動、交通安全見守り隊、催事等の交通安全対策等により、ソフト面における交通安全対策を実施することで、交通事故防止を図る。					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
	1	交通安全教室の実施回数	小学校33+10講座 保育園・幼稚園19×2講座 高齢者・PTA等7講座(回)	64.00	66.00	1 交通安全対策事業	実施
	2						
	3						

基本政策間連携

施策の柱 3	名称	茅野駅前自転車駐輪場の管理事業		主管課	建設課		
	詳細	茅野駅前にある東口駐輪場、西口駐輪場の2箇所の駐輪場の、朝夕の通勤時間帯における整理整頓、場内清掃、盗難防止、放置自転車の片付け等の管理を実施し、駐輪場の自転車が無造作・無秩序に置かれたり、ゴミの投げ捨てなども時折見られ、茅野市の玄関口としての駅前の秩序維持を図る。					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
	1	放置自転車の撤去回数	年間の撤去実施回数(回)	1.00	2.00	1 茅野駅前自転車駐輪場管理事業	実施
	2						
	3						

基本政策間連携

施策等名称	交通安全対策	体系番号	0501010304
		主管課	建設課

2 指標等の推移と変動要因

体系区分	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
指標No.		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)				
施策	老朽化ミラーの更新数	1.00	20.00				
1		20.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	計画通り更新を実施している。					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
施策	交通安全教室の実施回数	64.00	83.00				
2		66.00	125.76	0.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	計画通り教室を実施している。					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
施策	放置自転車の撤去回数	1.00	1.00				
3		2.00	50.00	0.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	放置自転車が少なかったため、撤去回数を1回とした。					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
柱1	道路反射鏡設置・更新数	1.00	20.00				
1		22.00	90.91	0.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	計画通り更新を実施している。					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
柱1	転落防止策柵等の設置・更新距離	140.00	291.00				
2		100.00	291.00	0.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	補修等の要望が多く、重点的に実施した。					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
柱1	路面表示の設置・更新述べ距離	14495.40	6665.00				
3		14495.00	45.98	0.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	消えたり、薄くなっている区画線等が多かったため、重点的に実施した。					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						

施策等名称	交通安全対策	体系番号	0501010304
		所管課	建設課

No.	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)				
柱2 1	交通安全教室の実施回数	64.00	88.00				
		66.00	133.33	0.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	警察、交通安全協会、長野県交通安全教育支援センターと協力し、多くの教室を実施した。					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
柱3 1	放置自転車の撤去回数	1.00	1.00				
		2.00	50.00	0.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	放置自転車が少なかったため、撤去回数を1回とした。					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						

施策等名称	交通安全対策	体系番号	0501010304
		主管課	建設課

3 評価・改革改善

(単位:円)

項目		2018年 (前年度比)	2019年 (前年度比)	2020年 (前年度比)	2021年 (前年度比)	2022年 (前年度比)
投資額	事業費(円)	29,687,681	30,972,000	1.04		
	うち一財(円)	20,867,681	30,972,000	1.48		
	増減理由 (一般財源 前年度比 ±10%以上 の場合に 記載)					
進捗評価		順調				
総合評価	主な取組内容や成果	ハード面では、老朽化ミラーの更新を順調に実施している。また、区・自治会等からの要望に対する整備も優先度により実施している。 ソフト面についても、関係機関と連携して教室を実施しており、子どもの事故防止に努めている。				
	課題	施設整備に多くの費用が発生する。特に除雪で削れる道路区画線の更新は後回しになりやすい。また、歩行者を守るポールの設置について要望が多いが、予算上、設置が限定してしまう。				
改革・改善	改革・改善内容	各交通安全施設の設置に係る優先順位付けをしながら、更新が停滞している主要路線の路面標示を実施する。				
	施策の柱等の重点化	重点化する施策の柱	1			
		重点事務事業	1			
	理由	交通安全施設の整備が直接的に交通事故防止につながるため。				

作成担当者	今井明彦			
最終評価責任者	篠原尚一			
最終評価年月日	2019年5月31日			